

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【公開番号】特開 2008-235896 (P2008-235896A)
 【公開日】平成 20 年 10 月 2 日 (2008.10.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-039
 【出願番号】特願 2008-71060 (P2008-71060)
 【国際特許分類】

H 0 1 G 9/04 (2006.01)

H 0 1 G 9/042 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 9/04 3 4 0

H 0 1 G 9/04 3 3 4

H 0 1 G 9/04 3 3 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 3 月 17 日 (2011.3.17)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

湿式電解コンデンサであって、

アノードであって、タンタル、ニオブ、またはそれらの導電性酸化物を含むアノードと

、

電流コレクタの表面上に配置されているコーティングを含むカソードと、

を含み、

上記コーティングは複数の電気化学的活性粒子及びバインダーを含み、上記バインダーは 100 ° C またはそれより高いガラス転移温度を有する非晶質ポリマーから形成され、上記バインダーは、150 マイクロメートルまたはそれより小さい D_{90} 粒子サイズ分布を有する粒子の形状を有し、

上記カソードと上記アノードとの間に配置されている作用電解質であって、酸を含む水溶液を含む作用電解質を更に含む、
 ことを特徴とする湿式電解コンデンサ。

【請求項 2】

上記非晶質ポリマーは、150 ° C またはそれより高いガラス転移温度を有していることを特徴とする請求項 1 に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 3】

上記非晶質ポリマーは、熱可塑性ポリイミドであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 4】

上記ポリイミドは、ポリ(アミド-イミド)、ポリ(エーテル-イミド)、またはそれらの組合せであることを特徴とする請求項 3 に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 5】

上記ポリイミドは、トリメリト酸またはその誘導体、及び芳香族ジアミンから形成されたポリ(アミド-イミド)であることを特徴とする請求項 4 に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 6】

上記バインダーは、75マイクロメートルまたはそれより小さい D_{90} 粒子サイズ分布を有する粒子の形状を有することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 7】

上記電気化学的活性粒子は、金属、金属酸化物、炭素質粒子、またはそれらの組合せであることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 8】

上記電気化学的活性粒子は、活性炭素を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 9】

上記コーティングは、導電性充填材を更に含むことを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 10】

上記アノードは、タンタルまたはニオブの導電性酸化物を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 11】

上記アノードは、該アノードのアノード酸化処理により該アノードの上及び内部に形成される誘電体フィルムを含むことを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の湿式電解コンデンサ。

【請求項 12】

上記アノードはニオブの導電性酸化物を含み、上記誘電体フィルムは五酸化ニオブを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の湿式電解コンデンサ。